

保健医療科学研究科

2024 年度 特別研究の紹介

<健康増進・リハビリテーション分野>

特別研究科目名	研究指導教員	主な研究内容
バイオメカニクス学	福井 勉	身体運動の分析あるいは皮膚運動の分析 動作解析装置、加速度計、床反力装置などを用いた身体運動の分析や身体への負担の計測、また皮膚運動の分析を行うために小型3次元反力装置、超音波診断装置などを用いた研究を行っています。
身体運動システム学	柿崎 藤泰	「胸郭の運動解析」や「身体運動の左右非対称性」という同じテーマを共有しながら、研究生個々に特化した分野、興味ある分野（上肢帯、下肢帯、頭頸部、腰部骨盤帯など）から研究テーマを選択し、研究を行っています。
発達障害作業療法学	神作 一実	「安全に美味しく楽しい食事」に必要な機能や条件を研究しています。 ・ 摂食嚥下機能を構成する要素の分析 ・ 食品物性の分析 ・ 感覚機能と食嗜好の関係の解析 ・ 食べるために必要な手と口の協調の解析 を中心に研究を行っています。 この研究室では (1) 発達期の摂食嚥下リハビリテーションを中心に学び研究します。 (2) 日本作業療法士協会の専門作業療法士（摂食嚥下）研修会と単位互換制度があります。 本研究科の発達障害作業療法学演習と老年期障害作業療法学特論を履修し、摂食嚥下リハビリテーションに関する修士論文を執筆することで、日本作業療法士協会の専門作業療法士（摂食嚥下）取得のために必要な単位の約8割が取得可能です。
老年期障害作業療法学	大橋 幸子	老年期作業療法分野における評価や治療、介入、支援に関する以下の研究を中心に行っています。 ・ 高齢者介護施設リスクマネジメントに関する研究 ・ 高齢者の転倒予防に関する研究 ・ 高齢者の認知機能に関する研究 ・ 認知症の評価や治療、介入、支援に関する研究 ・ 成人・高齢者の摂食嚥下に関する研究 この研究室では、 (1) 日本が直面している超高齢社会の課題をふまえて、保健・医療・福祉の課題と作業療法の可能性を中心に学

		<p>び研究します。</p> <p>(2) 日本作業療法士協会の専門作業療法士（摂食嚥下）研修会と単位互換制度があります。</p> <p>本研究科の老年期障害作業療法学特論と発達障害作業療法学演習を履修し、摂食嚥下リハビリテーションに関する修士論文を執筆することで、日本作業療法士協会の専門作業療法士（摂食嚥下）取得のために必要な単位の約8割が取得可能です。</p>
作業科学	西方 浩一	<p><作業科学></p> <p>作業科学は作業的存在としての人間を研究する学問です。作業とは、人々が日々の生活で行う活動のことであり、作業・作業的存在の概念、作業と健康、作業と幸福、作業と参加、作業と発達などを探求します。</p> <p><発達期作業療法></p> <p>発達期に障害のあるお子さんを対象とした作業療法について、効果的な方法、支援の実際について探求します。</p> <p><摂食嚥下機能の発達と支援></p> <p>摂食嚥下機能のメカニズムの理解、発達過程の理解、支援方法を探求します。</p> <p>* 主な研究手法として、質的研究、インタビュー、参与観察、調査研究などを用います。</p>
機能形態学	野部 裕美	<p>生体反応を理解するうえで、薬理的薬物を用いて、動物（ラットやマウス）の摘出臓器における生理反応を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症性腸疾患モデル動物を用いた機能解析 ・平滑筋組織に対する生理活性物質による機能解析 ・多価不飽和脂肪酸投与による腸管機能解析 <p>生理的な生体反応について、心電図を用いて検討を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香り刺激による心電図波形に与える影響 ・運動負荷時における心機能解析
生体機能解析制御学	正保 哲	<ul style="list-style-type: none"> ・運動時の循環動態、自律神経活動、血管機能、骨格筋での酵素代謝に関する関係 ・心肺運動負荷試験中の循環動態、血管機能に関する研究 ・新たな至適運動強度判定指標の開発

<検査情報解析分野>

特別研究科目名	研究指導教員	主な研究内容
生理画像解析学	川良 徳弘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生体検査実施中の自律神経反射 ・ 左室拡張動態とⅢ音との連関 ・ 骨格筋弛緩過程の年齢依存性の検討 ・ 左室心尖部の等容弛緩期奇異性運動について
臨床検査管理情報解析学	大久保 滋夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストレスと種々条件による唾液分泌と顔側面部血液量との関係 ・ 尿路結石患者尿中成分・尿沈渣成分・結石中成分の解析 ・ 尿路結石症発症・再発予知検査法の構築 ・ 性周期と尿中成分・尿沈渣成分との関係 ・ 一般検査とプレアナリティカルな要因 ・ Tamm-Horsfall protein の尿中機能の解明 ・ 広東住血線虫症の診断法の開発 ＊ 東京医科歯科大学大学院 国際環境寄生虫病学分野との共同研究
感染制御検査情報解析学	古谷 信彦	<p>感染症の病原因子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑膿菌の Motility・Biofilm 形成・色素産生能の定量 ・ Acinetobacter 属の Biofilm 形成能の測定 <p>感染症治療戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品成分を用いた薬剤活性増強効果の検討 ・ 漢方薬・生薬を用いた病原因子の抑制効果の検討 <p>感染制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 微酸性電解水による手指・医療用ユニホームの殺菌効果の検討 <p>遺伝学的解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多剤耐性菌の薬剤感受性試験と遺伝子学的解析 <p>嚥下性肺炎予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護老人保健施設入居者における口腔内細菌の分布調査
病因病態情報解析学	山田 哲夫	<p>病理学/病理検査学（病因病態情報解析学）研究室では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変性疾患、腫瘍性疾患、炎症性疾患の病因・病態の検索 ・ 正常の解剖組織学的構造の再検討 ・ 組織標本作製のための技術開発 <p>などを重点的に研究しています。当研究室が得意としている方法・技法は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚切り（≥ 0.5 mm）組織標本作製 ・ 大割組織標本作製 ・ 多重標識（2重免疫染色、5重免疫蛍光、更に銀染色との重ね合せ）

		<ul style="list-style-type: none"> ・バーチャルスライド（デジタル顕微鏡標本）の作製と解析 <p>であり、これらを組み合わせて用いることで研究を進めています。</p>
化学検査情報解析学	飯島 史朗	<ul style="list-style-type: none"> ・多発性骨髄腫とその前がん病態の予後予測に関する研究 ・炎症性疾患の予後に関与する糖鎖の解析 ・腎特異的タンパクを用いた早期腎症検出法の開発 ・アレルギー反応抑制のための末梢血単核球細胞分化因子の解明
血液検査情報解析学	濱田 悦子	<p>血球細胞動態の解明および検査法の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血管内過凝固状態における血球細胞動態の解明および検査法の開発 ・感染症状態の血球細胞動態の変化および予後予測 <p>臨床検査結果を応用した各種病態メカニズムの解明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査結果を応用したストレス下血液細胞動態のメカニズム解析 ・臨床検査医学的各種病態メカニズムの解明 ・自動血球計数装置を応用した各種疾患における血液細胞内情報の解析
感染症分子生物学的解析学	眞野 容子	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤耐性菌の動向とそのメカニズムの解析 ・細胞培養を用いた感染症病原因子の解析 ・細菌感染症の新規治療薬の検討